

取扱説明書

機器を安全に使用するため、ご使用前に必ずお読みください。取扱説明書はご使用になる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。

認証番号 Z24ALBZX00044000号
MADE IN JAPAN

エアータービン

Ti-Max Z

ティーマックス ZT

Z800L / Z800 / Z800KL / Z800SL / Z800BL
Z800WL / Z800ML / Z800YL / Z800FL
Z900L / Z900 / Z900KL / Z900SL / Z900BL
Z900WL / Z900ML / Z900YL / Z900FL

OM-T0449 003

1. 使用者・使用目的

使用者： 有資格者
使用目的： 歯科領域の治療

2. 安全上の注意、危険事項の表記について

- ご使用の前に必ずこの安全上の注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 危険事項の説明は、製品を安全にお使いいただき、使用者や他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに分類しています。いずれも安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

注意の区分	危害や損害の大きさと切迫の程度
 警 告	「重度の人身障害または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。
 注 意	「軽度の人身障害または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。
お知らせ	「故障や性能低下を起さないためにお守り頂きたいこと、仕様や性能に関して知っておいて頂きたいこと」を説明しています。

警 告

- ・回転中、プッシュボタンを押さないように注意してください。回転中に押すとプッシュボタンが発熱し、火傷をすることがあります。また、早期故障の原因となります。特に頬側部での使用の際は注意してください。

注 意

- ・使用する前にこの取扱説明書を読み、各部の機能をよく理解してから使用を開始してください。この取扱説明書はご使用になる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- ・患者の安全を第一に考え、使用には十分注意を払ってください。
- ・医療機器の操作、保守点検の管理責任は、使用者側にあります。
- ・取扱説明書に記載されていない改造・分解をしないでください。
- ・落下等の強い衝撃を与えないでください。
- ・切削時は安全、健康のため保護眼鏡、マスク等を着用してください。
- ・使用中、少しでも異常を感じたら使用を中止して、販売店まで連絡してください。
- ・酸性電位水（強酸性水、超酸性水）、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りをしないでください。
- ・本製品は未滅菌品です。使用前に必ず滅菌してください。
- ・機器および部品は必ず定期点検を行ってください。
- ・長期間使用していない機器を使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。
- ・使用中の万一の故障等に備え、スペアのセットを用意することを推奨します。
- ・LED光を直接見ないでください（Z800BL/Z800WL/Z900BL/Z900WL）。
- ・本製品はIEC62471、EN62471、JIS C 7550に對しリスク免除グループに属するLED製品です（Z800BL/Z800WL/Z900BL/Z900WL）。
- ・電源供給源は以下の条件を満たしてください（Z800BL/Z800WL/Z900BL/Z900WL）。
 1. 電源の供給電力は通常および単一故障状態においても15W未満である。
 2. 電源出力はSELVである。
 3. 電源の出力電圧は本製品の製造者の推奨する電圧範囲である。
- ・本製品は、特定保守管理医療機器です。医療機器安全管理責任者を配置し、医療の安全管理のための体制を確保することが、医療法等で義務付けられています。

3. 付属品一覧

No.	部品名	数量	備考
1	ヘッドキャップレンチ	1	—
2	スプレーノズル	1	—
3	クリーニングワイヤ	1	ワイヤ、ブラシのセット
4	パテラスOリングセット	1	Z800L/Z800/Z900L/Z900 のみ

4. 供給圧力の設定

供給圧力を手元で測定して、仕様に記載された適正圧力に設定します（図1）。
※マルチゲージは別売品一覧を参照してください。

警 告

- ・供給圧力は仕様に記載された適正圧力を超えないようにしてください。

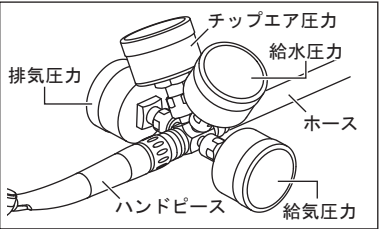


図1

注 意

- ・使用するエアはごみ、水、オイル等が混入しない清浄なエアを使用してください。

5. ハンドピースの着脱

使用するカップリング、ホースの取扱説明書を確認の上、ハンドピースを接続してください。

Z800L/Z800/Z900L/Z900

5-1 取り付け

- 1) ハンドピースをカップリングに真っ直ぐ挿し込みます（図2）。
- 2) 取り付け後はハンドピースを押し引きして接続されていることを確認します。

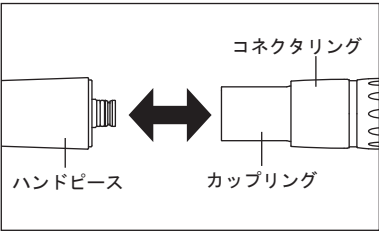


図2

5-2 取り外し

コネクタリングを引きながら、ハンドピースをカップリングから引き抜きます。

注 意

- ・給気圧力がかかっている時は、コネクタリングを動作させないでください。給気の圧力によってハンドピースが飛び出します。

6. パーの着脱

6-1 取り付け（図3）

- 1) パーをチャックに挿し込みます。
- 2) プッシュボタンを押し、チャックを開きます（①）。
- 3) パーをチャックの奥にあたるまで挿し込み、プッシュボタンを離します（②）。
- 4) パーを押し引きして確実に装着されていることを確認します。

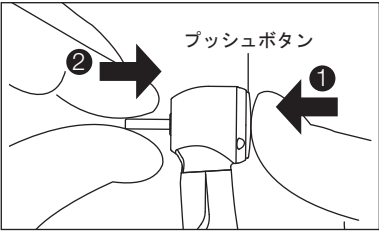


図3

6-2 取り外し（図4）

プッシュボタンを押してチャックを開き（①）、パーを取り外します（②）。

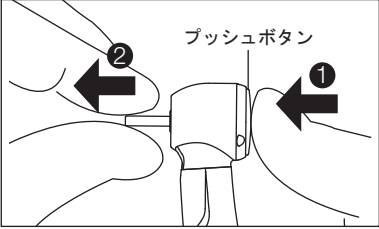


図4

お知らせ

- ・人差し指がヘッドの付け根部分にくるようにして保持するとプッシュボタンが押しやすくなります。

注 意

- ・パーを浅咬みの状態で使用しないでください。
- ・パーの着脱は、回転を完全に停止させてから行ってください。
- ・装着するパーのシャンクは、いつもきれいにしてください。ゴミがチャック内部に入ると、芯ブレやチャック保持力がなくなるなどの原因になります。
- ・パーメーカーの指定した回転速度を超えて使用しないでください。
- ・パーの最大長さを超えて使用しないでください。
- ・パーに過度の負荷をかけて使用しないでください。パーが折れたり、曲がったりします。また、パーが取り外しにくくなります。
- ・以下のようなパーは使用しないでください。これらのパーを使用しますと、回転中に折れたり、抜けたり、かじり付いたりする恐れがあります。
 - 曲り、変形、サビ、欠け、折れ、磨耗の激しいパー
 - 刃や軸に傷がついたパー
 - JIS 規格外、後加工を施したパー

7. 使用前点検

使用前にヘッドキャップのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合はヘッドキャップレンチで締めつけてください。また、ハンドピースを患者の口腔外で回転させて点検をしてください。点検時、または使用時にパーの振れ、振動、音、発熱等の異常を感じた場合、使用を中止し、販売店まで連絡してください。

8. 治療後のメンテナンス

患者の治療終了毎に、次章以降のメンテナンスを行います。メンテナンスを怠ると、早期故障や発熱の原因になります。

8-1 クリーンヘッドの清掃

患者の治療終了ごとにクリーンヘッドの清掃を行います。

- 1) 広口の容器にきれいな水を入れます。
 - 2) クリーンヘッド穴まわりの汚れを落とします（図5）。
 - 3) ハンドピースを回転させ、そのままきれいな水の中にヘッド半分が隠れるくらいまで入れます（図6）。
 - 4) 水の中でハンドピースの回転、停止を 2、3 秒繰り返します（3 回程度）。
 - 5) 水から取り出し、ハンドピースをよく拭き、乾かします。
- ※切削粉などが付着して上記の方法だけではきれいにならない場合は、付属のブラシを使用して清掃します。

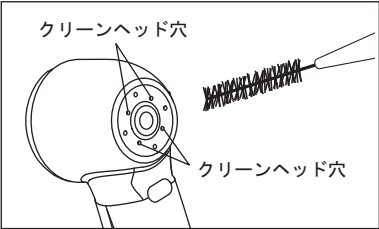


図5

8-2 ハンドピースの清掃

- 1) 表面の汚れをブラシ（金属製は不可）等で払い落とします。
- 2) 消毒用アルコールを染みこませた綿等で丁寧に拭き取ります。

☒ 熱水洗浄器の使用が可能です。

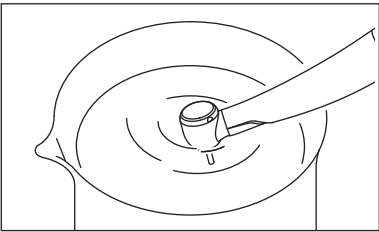


図6

熱水洗浄器を使用する場合は、熱水洗浄器の取扱説明書を確認の上、使用してください。

注 意

- ・熱水洗浄器を使用する場合は、洗浄後に十分乾燥させて、内部の水分を取り除いてから注油をしてください。水分が残った状態で注油を行うと、注油の効果が損なわれるだけでなく、内部腐食等の発生する原因となります。
- ・清掃には絶対にベンジン、シンナー等の溶剤を使用しないでください。

8-3 グラスロッドの清掃

グラスロッドにゴミや切削物などが付着した場合は、消毒用アルコールを染みこませた綿棒などで丁寧に拭き取ります（図7）。

注 意

- ・グラスロッドを清掃する時に、針や刃物などを使用すると傷がつき、光の透過率が下がります。

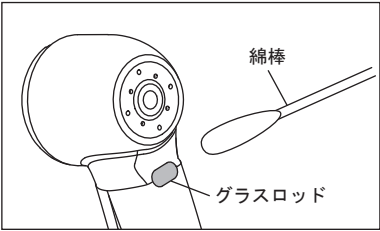


図7

8-4 注水ノズルの清掃

注水ノズルが詰まったり、注水が十分にでない場合は、付属のワイヤを注水ノズルへまっすぐ挿し込み清掃します（図8）。

注 意

- ・注水ノズルにワイヤを無理に挿し込んだり、斜めに挿し込んだりしないでください。注水ノズルが変形し、パーに注水が適切に当たらないなどの不具合の原因になります。
- ・クリーンヘッド穴にはエアを吹きこまないでください。

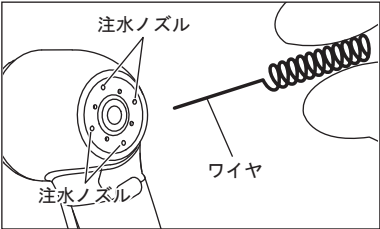


図8

8-5 注油

■パナスプレープラスによる注油

各患者の治療後、またはオートクレーブ滅菌前に下記の通り注油を行ってください。

- 1) ハンドピースのパーを取り外します。
- 2) パナスプレープラスのノズル部にスプレーノズルを強く挿し込みます。
- 3) スプレーノズルをハンドピース後部へ挿し込み、ハンドピースを押さえて、ハンドピース先端よりオイルが出るまで 2～3 秒スプレーします。注油は先端から異物等の汚れが出なくなるまで繰り返し行います（図9）。

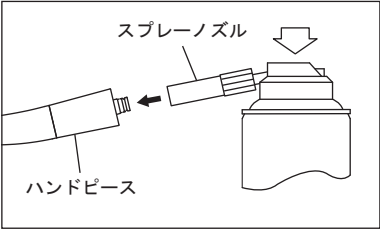


図9

注 意

- ・ハンドピースをしっかり押さえてください。スプレーの圧力によってハンドピースが飛び出す恐れがあります。
- ・パナスプレープラスを逆さにして使用しないでください。

■チャック内の清掃

週に一度チャック内を清掃してください。

- 1) パナスプレープラスのノズル部にチップノズルを取り付けます。
- 2) プッシュボタンを軽く押しながらパーの取り付け穴へ直接スプレー注油を行います（図10）。
- 3) 最後に、パナスプレープラス（図9）または弊社製自動注油システムによる注油を行います。

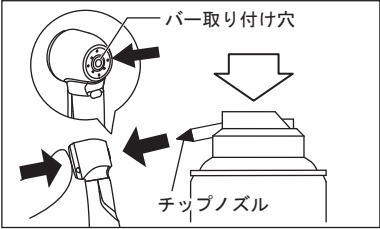


図10

注 意

- ・チャックの清掃を怠りますとチャック内にゴミがたまり、パーが抜けるなどの恐れがあります。

■弊社製自動注油システムによる注油

弊社製自動注油システムを使用する場合、自動注油システムの取扱説明書をよく読んで上で、使用してください。

8-6 滅菌

本製品はオートクレーブ滅菌にて滅菌してください。患者の治療終了毎に、パーを取り外し、下記の通り滅菌を行ってください。

- 1) 滅菌パックに入れ、封印します。
- 2) オートクレーブ滅菌を行います。下記の条件でオートクレーブ滅菌が可能です。
 - 121℃で 20 分間以上、132℃で 15 分間以上、または 134℃で 3 分間以上。
- 3) 使用するまで滅菌パックに入れたまま、清潔な状態を保てる場所に保管します。

注 意

- ・薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。
- ・ハンドピース内部に血液などの汚れが残ったままオートクレーブ滅菌すると、固着して故障の原因になります。オートクレーブ滅菌前は、必ず十分な洗浄、注油を行ってください。
- ・急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行わないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- ・乾燥工程において 135℃をこえてしまう場合は、乾燥工程を省いてください。
- ・本製品ではオートクレーブ滅菌以外の滅菌方法の効果は確認していません。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。

お知らせ

- ・EN13060 に示されるクラス B 滅菌器の使用を推奨します。

